

鳥取再資源化研究所が JICA と契約 鳥取県企業がペルーで乾燥地農業に挑む

国際協力機構（JICA）は、2018年3月28日、鳥取県東伯郡の株式会社鳥取再資源化研究所（竹内義章代表取締役）と「乾燥地節水型農業技術普及・実証事業（ペルー）」にかかる業務委託契約を締結しました。

ペルーは乾燥地農業が盛んな農業大国である一方、人口の2/3が集中する海岸部はわずかな水資源しか存在しないなど、水の需給バランスが大きな社会的課題となっています。また、アスパラガスの生産中心地であるイカ県は、年間平均降水量が10mmを下回り、灌漑水の大量くみ上げで地下水位が低下しているため、住民の水利用も困難になりつつある地域です。

株式会社鳥取再資源化研究所は、鳥取大学乾燥地研究センターと共同開発した「ポラスα」を土壤改良に活用し、ペルー国の乾燥地農業地帯における水不足解決への貢献を目指します。「ポラスα」は廃ガラスと貝殻を原料とする多孔質ガラス発泡材であり、土壤中に「ポラスα」を混合することで、細孔に水が貯えられ保水性が高まり、農業の節水化につながります。また、細孔の空気層が植物の生育に好影響を及ぼすことで、環境負荷がなく、収量拡大も期待できます。



現地の農場



鳥取再資源化研究所工場

普及・実証事業ではイカ県の国立農業研究所（INIA）の研究施設とモデル農家を対象に「ポラスα」の導入による野菜栽培技術の指導、INIA関係者への水の消費量と土壌水分の測量技術等の技術指導をおこない、導入製品の有効性を実証し、現地生産と販売可能性について探ります。

※この取り組みは、我が国の中小企業の製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とした「普及・実証事業」として実施されるものです。2017年3月に行われた公示で本事業が採択となりました。

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当:大西
 TEL:082-421-6300 FAX:082-420-8082
 E-mail: cictad@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

